

NIMS と大阪大学大学院情報科学研究科が“博士人材育成”の連携講座を設置

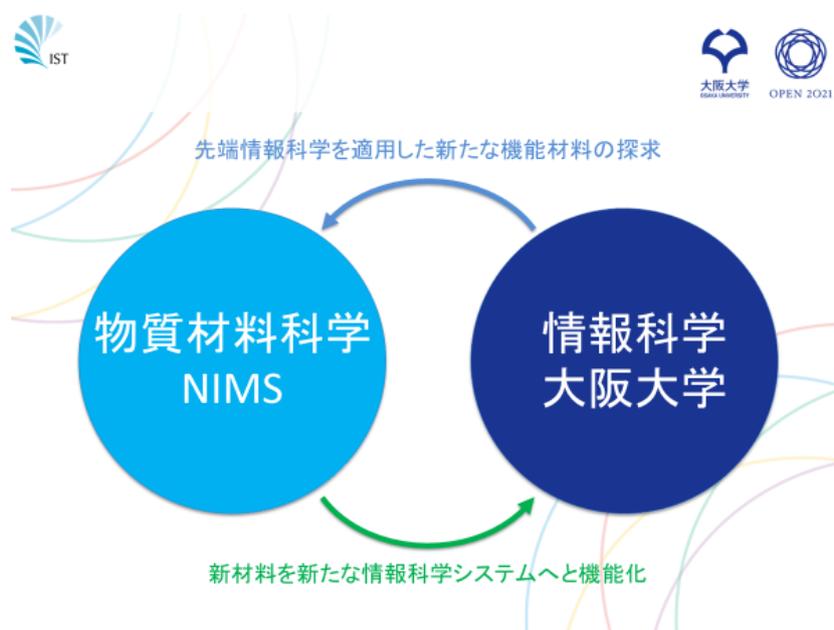
ーサイバー空間とフィジカル空間の融合技術で社会課題を解決へー

配布日時：2021年9月27日14時
 国立研究開発法人物質・材料研究機構
 国立大学法人大阪大学

概要

1. 国立研究開発法人物質・材料研究機構（理事長 橋本 和仁、以下「NIMS」）と国立大学法人大阪大学大学院情報科学研究科（研究科長 村田 正幸、以下「大阪大学」）は、ともに協力して物質材料科学分野における優れた若手研究者を育成するため、2021年10月1日付で大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻内にNIMSとの連携講座として「物質材料情報科学講座」を設置することに合意しました。

2. 情報科学と物質材料科学は、今日の社会インフラを支える重要な学問領域であり、Society 5.0においてサイバー空間とフィジカル空間の融合による社会的課題の解決が指向されている中で、サイバー空間を担う情報科学とフィジカル空間を担う物質材料科学の融合が強く求められています。「物質材料情報科学講座」では、情報処理技術を駆使して物質材料を設計し、新たな機能を持つ物質材料の創出を行うデータ駆動型物質材料研究を推進するため、情報×材料を融合した研究教育を行います。サイバー空間とフィジカル空間の融合技術を社会的課題の解決へと具現化する、高度な知識を身につけた優秀な人材を社会に輩出することを目指します。



3. 「物質材料情報科学講座」ではNIMSの研究者を大阪大学の招へい教授又は招へい准教授に迎え、NIMSの優れた物質材料の研究知見を活用した教育や研究指導を行います。

4. 「物質材料情報科学講座」での学生の受入は、2022年4月を予定しています。本講座に所属する大学院生は、NIMS連携大学院制度を通じて、NIMSジュニア研究員として雇用されます。

補足説明

NIMS 連携大学院制度について：

NIMS は大学と協定を締結し、NIMS の研究者が締結先の大学院生に、最先端の研究を通じて学位取得を目指した研究指導を行う「NIMS 連携大学院制度」を整備しています。このプログラムを利用して学位を取得した学生の多くが、卒業後に世界有数の研究・教育機関に羽ばたいています。2004年4月に筑波大学との協定により数理物質科学研究科に発足した専攻を皮切りに、北海道大学では総合化学院、生命科学院、理学院、九州大学では工学府、早稲田大学では理工学術院の専攻にNIMS 連携大学院にあたるプログラムを設置しています。英語でも講義や研究指導を実施しているため、国際的な研究環境の中、高度な専門性を持った人材の育成を目指します。外国人留学生に加え、博士号取得を目指す社会人も積極的に受け入れています。

大阪大学大学院情報科学研究科について：

大阪大学大学院情報科学研究科は、「人類が豊かで充実した社会生活を営むために、超スマート社会(Society 5.0)の実現を目指した新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらす」ことを理念とし、イノベーションの創起により大変革時代を先導する情報科学技術の研究を牽引し、新たな学術領域を開拓する人材の育成を目指しています。